

「消化器画像」第1巻総目次 (1999年第1号～第6号)

各欄右端の数字は通巻頁数、()内は号数を示す

State of the Art

早期十二指腸乳頭部癌の1例

窪川良廣・有山 襄・須山正文・崔 仁煥
山中晃一郎・若林 香・三輪 健……………5(1)

門脈血の流入を認めた大型肝細胞癌の1例

福永豊和・岡部純弘・富田周介・織野彬雄……………152(2)

胆管内乳頭状発育を認めた腫瘍形成型胆管細胞癌の1例

藤井常志・伊澤 功・水上裕輔・丹野誠志
西野徳之・小原 剛・高後 裕……………305(3)

表層拡大型早期下部胆管癌の1例

岩橋順子・神谷順一・小田高司・柳野正人
二村雄次・山本英夫・早川直和……………457(4)

進展度診断に3D-IDUSが有用であった下部胆管癌の1例

村上晶彦・三浦達也・池端 敦・北川正基
佐熊 勉・小野貞英・富地信和・佐々木康夫
望月 泉・菅原光宏……………615(5)

早期下部胆管癌の1例

小山内 学・真口宏介・柳川伸幸・湯沼朗生
伊藤英人・高橋邦幸・春山恭子・三好茂樹
泉 信一・渡辺晴司・野村昌史・桜井康雄
辻 邦彦・姜 貞憲・道家 充・中村文隆
篠原敏也……………761(6)

特 集

肝画像の最先端

序／肝画像の最先端

工藤正俊……………9(1)

パワーおよびカラーDプラの腫瘍血流検出能—

CTアンギオ(angiography assisted CT)との対比
熊田 卓・中野 哲・曾根康博・桐山勢生
林 和彦・山本明子・竹島賢治・野田孝浩
日比敏男・佐々 敏……………12(1)

超音波Dプラ法による肝腫瘍血管の描出—三次

元画像およびFFT分析
枋尾人司・富田周介・工藤正俊……………22(1)

超音波パワーDプラ法による肝細胞癌Lp-TAE

後の治療効果判定ならびに再発診断
大石 元・平井都始子・上田耕司・山田麗子

松尾祥弘・廣橋伸治・穴井 洋・西峯 潔

阪口 浩・吉岡哲也・打田日出夫……………31(1)

超音波造影剤の進歩と造影ハーモニクイメー ジング

森安史典……………39(1)

Single-level dynamic thin-section CTAによる肝腫

瘍血行動態の観察

上田和彦・松井 修・角谷真澄・吉川 淳
蒲田敏文・川森康博・寺山 昇・真田順一郎
小林 聡・日野祐資・赤倉由佳理・山城敬子
高島 力・中沼安二・野々村昭孝……………47(1)

MRIとUS—腫瘍検出における相補性と競合性

斎藤 聡・小林正宏・池田健次・熊田博光……………55(1)

肝腫瘍性病変における経動脈性門脈造影下MRI

の有用性—経動脈性門脈造影下CTとの比較検討

中塚豊真・山門亨一郎・田中 直・佐久間 肇
松村 要・竹田 寛・平野忠則・藤岡正樹
入山圭二・岩佐元雄・足立幸彦……………63(1)

Case 1 パワードプラ法が肝細胞癌治療効果判

定に有用であった1例—特にCTでの偽陰性例

黒川典枝・祐徳浩紀・山崎隆弘・沖田 極……………69(1)

Case 2 Single-level dynamic CT during hepatic

arteriographyにより肝細胞癌の流出静脈とし

て下横隔膜静脈を描出し得た例

佐藤守男・谷畑博彦・河合信行・武内泰三
増田光則・南口博紀・中井資貴・山田勝之
寺田正樹……………73(1)

胆管癌の進展度診断

序／胆管癌の進展度診断

二村雄次……………157(2)

肝内胆管癌の肉眼分類

山崎 晋・山本順司・小菅智雄・島田和明……………161(2)

肝外胆管癌の肉眼型分類とその進展様式

江畑智希・渡辺英伸・味岡洋一・西倉 健
伊達和俊・山野三紀・高木智史……………165(2)

CT, MRI, 超音波を用いた肝内胆管癌の進展度 診断

高安賢一・水口安則・村松幸男・村越直人……………174(2)

胆道造影, 胆道鏡, 血管造影による肝内胆管癌

の進展度診断

田岡大樹・水野修吾・川原田嘉文……………185(2)

胆管造影, 胆道鏡による肝門部胆管癌の進展度診断	
神谷順一・柳野正人・上坂克彦・湯浅典博 小田高司・佐野 力・二村雄次	193 (2)
回転立体胆道撮影による肝門部胆管癌の進展度診断	
瀬尾伸夫・石山秀一・布施 明・塚本 長	203 (2)
3 DCT による肝門部胆管癌の進展度診断	
竜 崇正・木下 平・小西 大・井上和人	211 (2)
3 DUS による肝門部胆管癌の進展度診断	
島津元秀・若林 剛・北島政樹・橋本 浩	219 (2)
血管造影による肝門部胆管癌の進展度診断	
西尾秀樹・神谷順一・柳野正人・上坂克彦 湯浅典博・佐野 力・二村雄次	225 (2)
胆道造影と胆道鏡(経口胆道鏡)による中・下部胆管癌の進展度診断	
露口利夫・石井良実・斉藤雅彦・鈴木秀明 服部祐爾・土屋正一・山口武人・菊池保治 篠崎正美・税所宏光	233 (2)
超音波内視鏡による中・下部胆管癌の進展度診断	
中村雄太・乾 和郎・中澤三郎・芳野純治 若林貴夫・奥嶋一武・小林 隆・西尾浩志 鶴飼宏司・香月祐介・服部外志之・三好広尚 高島東伸	238 (2)
IDUS による中・下部胆管癌の進展度診断	
乾 和郎・中澤三郎・芳野純治・若林貴夫 奥嶋一武・小林 隆・中村雄太・高島東伸 鶴飼宏司・三戸 隆・服部外志之・三好広尚	243 (2)
膵癌の進展度診断	
序／膵癌の進展度診断	
有山 襄	309 (3)
「膵癌取り扱い規約」からみた浸潤性膵管癌の進展度と治療成績	
伊佐地秀司・長沼達史・川原田嘉文	311 (3)
病理からみた膵癌の進展度診断—肉眼的進展度と組織学的進展度の対比	
山野三紀・安田敦美・渡辺英伸・高木智史 伊達和俊・江畑智希・橋立英樹・西倉 健 味岡洋一・白井良夫・佐藤一弘	319 (3)
US による膵周囲浸潤(S, RP)の診断	
今井英夫・堀口祐爾・鈴木智博・坂本宏司 久保裕史・上松正尚・豊田秀徳・中村祐子 林 隆男・浅野正裕・伊東逸朗・三沢美帆 伊藤隆雄・徳田 敦・鈴木一男・刑部恵介	

堀口明彦・宮川秀一	331 (3)
EUS による膵周囲浸潤の診断	
山雄健次・大橋計彦・松浦 昭・栗本組子 中村常哉・鈴木隆史・渡邊吉博・清水泰博 森本剛史・三竹正弘・内藤靖夫	338 (3)
CT, MRI による膵周囲浸潤の診断	
入江裕之・本田 浩・吉満研吾・黒岩俊郎 相部 仁・田嶋 強・増田康治	345 (3)
三次元 CT による脈管浸潤(PV, A)の診断	
松枝 清・荒井保明・稲葉吉隆・吉見富洋 板井悠二	353 (3)
ヘリカル CT における膵頭部周囲小静脈系の描出能と臨床的意義	
山田康成・森 宣・松本俊郎・清末一路 堀 雄三	361 (3)
門脈内 IVUS による門脈浸潤の診断	
金子哲也・中尾昭公	369 (3)
膵癌の EUS・IDUS による水平方向進展度診断	
真口宏介・小山内 学・柳川伸幸・潟沼朗生 伊藤英人・高橋邦幸・桜井康雄・三好茂樹 春山恭子・泉 信一・渡辺晴司・野村昌史 辻 邦彦・姜 貞憲	377 (3)
Virtual pancreatoscopy による膵癌の水平進展度診断	
廣橋伸治・松尾祥弘・坂本雅彦・伊藤高広 上田耕司・北野 悟・大石 元・打田日出夫	383 (3)
外科からみた膵癌の術前進展度診断と切除・再建術式	
柳野正人・神谷順一・上坂克彦・湯浅典博 小田高司・佐野 力・山本英夫・早川直和 金井道夫・二村雄次	389 (3)
肝転移—治療戦略と画像診断	
序／肝転移における画像診断の意義	
荒井保明	461 (4)
全身化学療法の立場からみた肝転移の治療成績	
住 一・大津 敦	463 (4)
肝切除の立場からみた肝転移の治療成績	
中村 達・鈴木昌八	471 (4)
肝動注化学療法の治療成績	
荒井保明・松枝 清・稲葉吉隆	477 (4)
マイクロ波凝固壊死療法(MCN)による肝転移の治療成績	
才津秀樹・朔 元則・吉田晃治	485 (4)
US による肝転移の診断	
田中幸子・押川 修・山本貴代美・堀 知子 竹内弘子	493 (4)

肝転移の CT, MR 診断

廣橋伸治・上田耕司・北野 悟・山根登茂彦
高濱潤子・武輪 恵・大石 元・打田日出夫…501(4)

肝転移診断における CTAP, CTHA—大腸癌肝転移に対する CTAP および CTHA の併用診断の有用性

稲葉吉隆・荒井保明・松枝 清・新槇 剛
田中利洋・田頭周一・佐々木文雄・竹内義人
山浦秀和・兼松雅之・星 博昭…509(4)

生検からみた肝転移の診断

熊田 卓・中野 哲・武田 功・桐山勢生
曾根康博・久永康宏・力徳知雄・清水秀幸
佐々 敏・中村 学・小川定信・市川秀男…517(4)

外科からみた肝転移の診断と手術術式

柳野正人・神谷順一・上坂克彦・湯浅典博
小田高司・佐野 力・山本英夫・早川直和
金井道夫・二村雄次…526(4)

肝転移症例における肝外病変の診断

松枝 清・稲葉吉隆・荒井保明…533(4)

進行胆嚢癌の手術適応—画像と治療

序／進行胆嚢癌の進展様式

近藤 哲…619(5)

US・EUS による進行胆嚢癌の進展度診断

乾 和郎・中澤三郎・芳野純治・若林貴夫
奥嶋一武・小林 隆・中村雄太・鶴飼宏司
三戸 隆・香月祐介・服部外志之・三好広尚
高島東伸…627(5)

CT による進行胆嚢癌の進展度診断

杉岡 篤・竹下 元・富田和美・藤田順子
小森義之・松井英男・宇山一郎・蓮見昭武…633(5)

MR による進行胆嚢癌の深達度診断

吉満研吾・本田 浩・黒岩俊郎・入江裕之
相部 仁・篠崎賢治・増田康治…645(5)

進行胆嚢癌の血管造影

窪川良廣・有山 襄・須山正文・崔 仁煥
山中晃一郎・三輪 健…655(5)

肝浸潤, 他臓器浸潤を伴った進行胆嚢癌の手術成績

中村 達・鈴木昌八・土屋泰夫…663(5)

ほぼ胆嚢に限局した ss 胆嚢癌の手術成績

太田岳洋・吉川達也・高崎 健…667(5)

閉塞性黄疸をきたした進行胆嚢癌の手術成績

佐野 力・神谷順一・柳野正人, 上坂克彦
湯浅典博・小田高司・金井道夫・山本英夫
早川直和・二村雄次…673(5)

門脈・肝動脈浸潤を伴った進行胆嚢癌の手術成績

績

宮崎 勝・伊藤 博・中川宏治・安蒜 聡
清水宏明・吉留博之・吉富秀幸・草塩公彦
河木 潤・岡屋智久・亀高 尚・片岡雅章
新村兼康・森田泰弘・中島伸之…687(5)

リンパ節転移を伴った進行胆嚢癌の手術成績

白井良夫・大谷哲也・畠山勝義…693(5)

進行胆嚢癌の非治癒切除・非切除例の手術成績

山口晃弘・磯谷正敏・原田 徹・金岡祐次…701(5)

ts1 浸潤性膵管癌の診断と治療成績

序／“ts1” 浸潤性膵管癌の診断と治療成績

池田靖洋…765(6)

ts1 膵癌の病理組織学的特徴

須田耕一・松熊 晋・信川文誠・山崎滋孝
田所洋行・和泉元喜・平井 周…769(6)

超音波集団検診で発見された膵癌の特性

有山重美・稲本善人・河村 奨…775(6)

MRCP による小膵癌(浸潤性膵管癌)のスクリーニング

崔 仁煥・有山 襄・須山正文・窪川良広
山中晃一郎・若林 香・中野一永…783(6)

ヘリカル CT, MRI による ts1 膵癌の診断

今井英夫・堀口祐爾・鈴木智博・坂本宏司
豊田秀徳・久保裕史・上松正尚・竹内文康
林 隆男・浅野正裕・加藤良一・安野泰史
片田和廣・堀口明彦・宮川秀一…791(6)

EUS(IDUS を含む)による ts1 膵癌の診断

大橋計彦・山雄健次・渡辺吉博・古川 剛
安井健三・森本剛史・清水泰博・廣岡芳樹
伊藤彰浩・内藤靖夫・早川哲夫…803(6)

膵小腫瘍性病変の鑑別診断

真口宏介・高橋邦幸・伊藤英人・小山内 学
潟沼朗生・桜井康雄・河上 洋・網塚久人
泉 信一・野村昌史・渡辺晴司・春山恭子
吉田晴恒・姜 貞憲・辻 邦彦…808(6)

バルーンカテーテル ERP 圧迫撮影法による ts1 膵癌の診断と治療成績

眞栄城兼清・中山吉福・池田靖洋…815(6)

ts1 膵癌長期生存例の特徴と治療成績

石川 治・大東弘明・山田晃正・佐々木洋
今岡真義・上原宏之・中泉明彦・田中幸子
春日井務…823(6)

座談会

これからの消化器画像

有山 襄・二村雄次・板井悠二・竹原靖明

望月福治	105 (1)
肝転移—治療戦略と画像診断	
荒井保明・南 学・杉原健一・岡田周市	
板井悠二	540 (4)
ts) 膵癌をめぐって	
川原田嘉文・渡辺英伸・須田耕一・柳澤昭夫	
中山吉福・山雄健次・有山 襄	829 (6)

原 著

胆嚢動脈造影下 CT および胆管造影 CT から再構成した virtual cholangioscopy (VCS) の検討	
趙 明浩・岡住慎一・高山 亘・竹田明彦	
岩崎好太郎・笹川真一・夏目俊之・河野世章	
近藤 悟・落合武徳	555 (4)
肝硬変に認められた肝内 A-P シャントによる門脈逆流の食事による変化—カラー Doppler 法による観察	
枋尾人司・岡部純弘・富田周介・工藤正俊	
岩崎信広・田村周二・中村仁美・曾我登志子	
森本義人・福永豊和・樫田博史・平佐昌弘	
伊吹康良・織野彬雄	707 (5)

症例報告

診断に苦慮した低分化型肝血管肉腫の 1 例	
柳澤善計・山野三紀・渡辺英伸・岩渕三哉	
村山久夫・佐藤 攻・清水武昭・加村 毅	
野本 実	78 (1)
膵腫瘍と鑑別を要した腫瘍形成性膵炎の 1 例	
亀井 明・猪狩功進・佐藤栄一・高野浩一	
浅原新吾・深田弘幸・十河直美・別府加寿子	
関 誠・柳澤昭夫・加藤 洋	85 (1)
主膵管狭窄をきたした膵漿液性嚢胞腺腫の 1 例	
松田正道・渡辺五朗・橋本雅司	91 (1)
EUS, IDUS が鑑別診断に有用であった膵頭部小膵癌の 1 例	
湯沼朗生・真口宏介・柳川伸幸・小山内 学	
伊藤英人・高橋邦幸・桜井康雄・三好茂樹	
泉 信一・野村昌史・渡辺晴司・姜 貞憲	
辻 邦彦	97 (1)
膵多発性内分泌腫瘍と肝門部異所性ガストリノーマを伴った 1 例	
堀口明彦・宮川秀一・花井恒一・永野謙司	
庭本直達・岩瀬祐司・佐藤 禎・永田英生	
浅野之夫・古澤浩一・清水朋宏・三浦 馥	249 (2)
結節型胆嚢癌を疑ったポリープ状腺筋腫症の 1 例	
藤本武利・北村隆信・松原正直・服部真弓	

小野洋子・檜山 護・大友 邦・加藤 洋	255 (2)
胆管拡張の経過観察中に診断された粘液産生肝内胆管癌の 1 例	
鬼頭 靖・神谷順一・柳野正人・金井道夫	
上坂克彦・湯浅典博・小田高司・佐野 力	
北川雄一・二村雄次	263 (2)
術前診断に苦慮した肝血管筋脂肪腫の一切除例	
杉本涼二・奥田康司・木下寿文・齊藤如由	
田中英二・佐島秀一・原 雅雄・今山裕康	
江里口直文・青柳成明	397 (3)
外側高エコー層が不変で保たれ病巣中心部が不均一な低エコーを示す胆嚢漿膜下線維層浸潤癌の 1 例	
井利雅信・松澤一彦・田中一成・安井英明	
竹原靖明	404 (3)
副膵管領域に発生した膵管内乳頭腺癌の 1 例	
筒井 茂・大橋計彦・山雄健次・古川 剛	
渡辺吉博・松浦 昭・栗本組子・中村常哉	
鈴木隆史・鈴木厚人・竹田欽一・高橋邦之	
小野祐希・清水泰博・安井健三・森本剛史	409 (3)
成人輪状膵の 1 例	
奥田逸子・小久保宇・黒崎敦子・古川珠見	
奥田近夫・松田正道	415 (3)
肉芽性肝膿瘍の 1 例	
倉元隆二・山筋 忠・島岡俊治・美園俊明	
有馬暉勝・松田彰郎・仁王辰幸・新原 亨	
大井秀久・西俣嘉人・西俣寛人・加治屋より子	
山田一隆・末永豊邦	563 (4)
造影エコーが診断に有用であった嚢胞化を主体とした膵島細胞腫の 1 例	
柳川伸幸・真口宏介・小山内 学・高橋邦幸	
湯沼朗生・伊藤英人・桜井康雄・春山恭子	
三好茂樹・泉 信一・渡辺晴司・野村昌史	
姜 貞憲・辻 邦彦・中村文隆・道家 充	567 (4)
特異な形態を呈し病態の把握に MRCP が有用であった分枝型粘液産生膵癌の 1 例	
尾石弥生・植木敏晴・坂口正剛・八尾恒良	
関 克典・山崎宏一・有馬純孝・尾石樹泰	
岩下明徳	573 (4)
結節性再生性過形成 (NRH) を合併した特発性門脈圧亢進症 (IPH) の 1 例	
中野一永・森岡研介・太田秀二郎・高森 繁	
大橋 薫・深澤正樹・児島邦明・別府倫兄	
二川俊二・有山 襄・須山正文	716 (5)
肝嚢胞状腫瘍が診断の契機となった膵グルカゴノーマの 1 例	

長島夏子・竹内和男・染谷貴志・奥田近夫 吉崎秀夫	721 (5)
重複型混合型肝癌の1例	
井手禎昭・橋本 隆・柳橋 健・小西 豊 谷 友彦・梶原建熙・伊吹康良・織野彬雄 白根博文	841 (6)

連載 初心者のための超音波診断—体外式 US

①肝臓の描出と超音波解剖 木村邦夫・中村広志	117 (1)
②肝臓の異常所見の読み方 (1)びまん性肝疾患 竹内和男・奥田近夫	269 (2)
③肝臓の異常所見の読み方 (2)肝腫瘍性病変 竹内和男・奥田近夫	419 (3)
④脾臓・門脈・脈管系の超音波診断 井利雅信・松澤一彦・竹原靖明	579 (4)
⑤胆嚢・胆管の描出と超音波解剖 山根隆明・一二三倫郎	733 (5)
⑥胆嚢の異常所見の読み方 林 仁守・小笠原鉄郎・山下安夫	847 (6)

講座 MRI の基礎から臨床応用

MRI の原理(1) 百島祐貴	127 (1)
MRI の原理(2) 樋口順也	277 (2)
MRI 機器の種類と性能 吉留英二	429 (3)
MRI の特徴—CT と対比して 新本 弘	587 (4)
ガドリニウム系造影剤の有用性 佐藤良則・関 達夫	744 (5)
肝臓 MRI の検査法 谷本伸弘	855 (6)

技術講座 胆道造影—私はこうする

ERCP 池田靖洋	133 (1)
選択的胆管造影 ①肝内結石症 神谷順一・二村雄次	281 (2)
選択的胆管造影 ②肝門部胆管癌 神谷順一・二村雄次	435 (3)
立体胆道造影法 權 雅憲	593 (4)
三次元 CT 權 雅憲	727 (5)

MRCP

崔 仁煥・有山 襄	863 (5)
-----------	---------

その他

研究会紹介

日本消化器画像診断研究会	堀口祐爾	137 (1)
肝血流動態イメージ研究会	工藤正俊	289 (2)
日本胆道外科研究会	田代征記	442 (3)
日本膵切研究会	安田秀喜	443 (3)
超音波ドプラ研究会	安原一彰	603 (4)

学会印象記

欧州 IVR 学会 (CIRSE '98)	小井戸一光	138 (1)
北米放射線会議 (RSNA '98)	蒲田敏文	290 (2)
“Biliopancreatic Malignancy : from Gene to Cure”	二村雄次	445 (3)
日本消化器画像診断研究会	山雄健次	604 (4)
第 54 回日本消化器外科学会—肝胆膵について	宮崎 勝	871 (6)

海外文献紹介

膵脂肪腫	板井悠二	139 (1)
進行肝癌に対する TAE 療法と対症療法：1 施設における無作為・割り付け試験の結果	工藤正俊	139 (1)
切除不能肝癌の TAE による治療—多施設無作為試験—	工藤正俊	140 (1)
全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後早期の胃内容停滞に対するヒト型合成モチリン (KW 5139) の効果	田中雅夫	141 (1)
慢性膵炎に対する内視鏡的膵管口切開術の安全性と有用性	田中雅夫	142 (1)
膵癌切除時の術中超音波検査は肝転移発見に無益	田中雅夫	142 (1)
Fumagillin 由来の TNP 470 による肝癌細胞の増殖と血管新生の抑制における NO 合成酵素の関与	福田浩之・江原正明・税所宏光	143 (1)
非典型的な画像所見を示した小肝血管腫；2 相性スパイラル CT における “Bright Dot” サイン	北野 悟	143 (1)
膵動脈系解剖—2 相性ヘリカル CT の描出能	伊藤高広	144 (1)
小結節型肝内胆管細胞癌	小山 貴	144 (1)
膵胆管領域の炎症性筋線維芽性腫瘍	小山 貴	145 (1)
肝腫瘍の検出—動脈相 MR と CTA の比較	小井戸一光	145 (1)
膵結核—CT 所見	小井戸一光	146 (1)

肝細胞癌患者の移植術前 TAE 療法：著明な腫瘍壊死効果はあるが延命効果はない？	工藤正俊	291 (2)
肝移植では非リンパ系臓器腫瘍の発生を助長することはない	吉川正治・江原正明・税所宏光	291 (2)
造影パワードプラ超音波による肝細胞癌の検討	女屋博昭	292 (2)
C 282 Y ホモザイガス・ヘモクロマトーシスにおける肝線維化の非侵襲的予測	早坂 章	292 (2)
SPIO 造影 T 1 強調グラディエントエコー法における偽病変：CTAP における門脈還流異常域との比較	上田耕司	293 (2)
ムチン産生腫瘍：MRCP と ERCP の比較	板井悠二	294 (2)
完全超音波内視鏡下に施行した経胃嚢胞ドレーナージによる嚢嚢性嚢胞の治療	横畑和紀・田中雅夫	294 (2)
嚢嚢嚢腺腫に腫瘍核出術は適当な術式か？	宇都宮成洋・田中雅夫	295 (2)
嚢嚢管内腫瘍	田中雅夫	295 (2)
嚢嚢切除時の術中超音波検査は肝転移発見に無益	田中雅夫	296 (2)
超音波プローブを使用した食道癌および胃癌の経内視鏡的超音波検査	田中雅夫	297 (2)
消化管間質腫瘍の <i>c-kit</i> の機能獲得性変異	小山 貴	297 (2)
肝動脈以外の動脈の肝供血：固有肝動脈バルーン閉塞下の IVR-CT による観察	板井悠二	447 (3)
2 列型検出器ヘリカル CT (X 線ビーム幅 2.5 mm) による肝病巣の検出能向上	女屋博昭	447 (3)
肝切除や肝生検は肝細胞の血行性散布をきたす	工藤正俊	448 (3)
嚢嚢ムチン産生性腫瘍 P 拡散強調エコープラナ MR 像の診断的価値	板井悠二	449 (3)
嚢嚢管内乳頭状粘液腫瘍、画像診断と治療戦略	田中雅夫	449 (3)
嚢嚢胆管合流異常症の診断における MRCP の有用性	山口幸二・田中雅夫	450 (3)
肝 MRI に見られる区域 IV の偽病変：硬変肝、正常肝各 250 例での頻度と形状	板井悠二	605 (4)
小肝細胞癌：信号強度と組織学的所見ならびに腫瘍および周囲肝組織の金属含有量との		

関係	板井悠二	605 (4)
総胆管嚢腫 8 名の患者における MRCP と ERCP の比較検討	女屋博昭	606 (4)
同一内視鏡医による ERCP 再検査の成功率	田中雅夫	606 (4)
EUS と MRCP による総胆管結石症の診断能	田中雅夫	607 (4)
非侵襲的診断法による総胆管結石の存在予測	田中雅夫	607 (4)
原発性胆汁性肝硬変における発癌率：MayoClinic における経験	工藤正俊	750 (5)
原発性胆汁性肝硬変における肝内・肝外発癌	工藤正俊	750 (5)
悪性腫瘍と鑑別困難であった肝門部胆管良性狭窄	山口幸二・田中雅夫	751 (5)
血液供給と硬変肝の肝細胞結節悪性度との関連—動脈注入造影 CT での評価—	板井悠二	752 (5)
黄色肉芽腫性胆嚢炎—壁内結節に主眼をおいた画像所見と病理の対比—	板井悠二	752 (5)
ソマトスタチンによる ERCP 後の急性嚢嚢炎予防効果：二重盲検法による検討	田中雅夫	753 (5)
アルコール性肝硬変例における嚢嚢疾患の前向き検討：ERCP と EUS の診断能比較と単発性の実質異常所見の長期経過	田中雅夫	753 (5)
開放型 MRI 装置を用いた MRI ガイド下の肝腫瘍レーザー温熱焼灼療法—技術と初期経験—	工藤正俊	872 (6)
組み込み型 HBV DNA のクローニング及び PCR によるヒト多発肝癌の起源の検索—多中心性発癌か肝内転移か？—	工藤正俊	872 (6)
硬変肝に生じた肝細胞癌の検出—ガドリニウムおよびフェルモキシデスを用いた造影 MRI の比較—	板井悠二	873 (6)
高血流肝偽病変と肝細胞癌の鑑別—肝動脈血管造影下同一レベルダイナミック CT の価値—	板井悠二	874 (6)
硬変肝内の小結節—超音波、CT と MR の画像所見—	小井戸一光	875 (6)
新しい経口的超音波造影剤の安全性と有効性—第 2 相試験—	樫田博史	875 (6)
嚢嚢癌と慢性嚢嚢炎—ダイナミック MRI—	樫田博史	876 (6)
嚢嚢癌の局所進展—スインスライスヘリカル CT 対呼吸停止下 MRI の ROC 解析—	板井悠二	877 (6)
ヘリカル CT 早期相および後期相を用いた嚢嚢腺癌の腫瘍ステージング	板井悠二	878 (6)

書評

- 内科医の薬 100 Minimum Requirement 第2版
.....野口善令... 90(1)
- マックでビデオ 医師のためのデスクトップ
ビデオ編集(入門編).....柵山年和...182(2)
- 症例から学ぶ和漢診療学 第2版 ...代田文彦...202(2)
- 静脈瘤治療のための門脈血行アトラス
.....奥田邦雄...470(4)
- 肝癌の低侵襲治療門田守人...559(4)
- 高齢者のための漢方薬ベストチョイス
.....五島雄一郎...726(5)
- 消化管エコーの診かた・考えかた ...新海眞行...828(6)

Letter to the Editor 海外文献より

- 肝細胞癌に対する TAE は survival benefit はな
い?工藤正俊...286(2)

私の主張

- 日本の臨床研究に欠けているもの
—Randomized Trial奥田邦雄...441(3)

私の意見

- TAE の有効性について—欧州における random-
ized trial.....松井 修...601(4)
- TAE の有効性に関する今後の対応 ...岡崎正敏...869(6)

ご存じですか... R · R

出版物を複写される場合は、権利者に事前に複写許諾の申込をしていただくことになっています。奥付等に表記されている次のマークはそれぞれの出版物の複写に関する条件を表示しています。



Rマーク

- 頒布を目的としない、少部分、少部数のコピーに限り、
- ・複写毎に許諾をえて1ページにつき1部2円で複写できます。
 - ・日本複写権センターと包括許諾契約を結んでいれば、同センターにそのつど申告することなく複写できます。



白抜きRマーク

- ・主として学術専門書などで、コピーの範囲、部数の限度や使用料が個別に定められています。
- ・包括許諾契約の対象外出版物ですので、包括許諾契約を結んでいても、複写のつど事前に日本複写権センターへ許諾申請が必要です。

上記のマークが表記されていなくても日本複写権センターへ複写権の管理が委託されている出版物もあります。複写される場合は、必ず日本複写権センターあて(Tel.03-3401-2382)お問い合わせください。

株式会社 医学書院

社団法人 自然科学書協会